

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

R4年7月22日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社ユニエツクス NCT
所 在 地	東京都中央区新川1丁目28番24号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長執行役員 小原祥司
担 当 者 連 絡 先	電話：03-6280-0300 メール：hitoshi.kikuchi@unictgroup.com
ウェブサイト U R L	https://www.uni-xnct.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

港湾運送事業、整備事業、倉庫業、海運貨物取扱業、通関業、
貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、内航海運業 他

<港湾関係>

大井ターミナル、南本牧ターミナル、六甲ターミナルでのコンテナターミナル事業
大黒ふ頭、神戸港での在来船荷役及び瀬戸内海内航船運航
上記港湾施設でのメンテナンス事業

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・安全管理体制の構築 ・2040年までにコンテナターミナル全ての荷役機器をゼロエミッション機器へ移行することを目指しています。	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) 事故災害ゼロ、CO2排出ゼロ
□環境 ✓社会 □経済	・各種資格取得支援制度の策定 ・女性社員活躍の為のユニエツクスNCT行動計画の策定 ・各種社会貢献の実施	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) ジェンダー差別ゼロ、離職率ゼロ
□環境 □社会 ✓経済	利益の最大化とステークホルダー満足度の最大化の両立を図り、さらに企業価値を高め、利益の循環を行う	選ばれる企業であり続けることを目指す

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	企業行動基準で「人権、多様な文化の尊重」を掲げている。HPに記載。また相談窓口も設置・共有している。また全職員が本企業行動基準の遵守誓約書へ毎年度署名している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	コンプライアンス委員会の設置及び社内・社外の通報窓口を設置し、共有している。各事業所内にポスターも掲示している。年度末のレビューや事案については都度全社へ発信している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	働き方改革を進めており、時短制度や時差出勤制度を策定している。労使間で36協定を結んでおり、対策に取り組んでいる								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	”ハラスメント防止”同様に内部・外部の相談窓口を設置、共有しており、”差別の禁止”同様、企業行動基準で「人権、多様な文化の尊重」の中で各国・地域文化の尊重を掲げている。HPに記載。また全職員が本企業行動基準の遵守誓約書へ毎年度署名している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全管理室を設置しており、月一度の安全パトロールの実施及び安全会議を行っている。安全衛生委員会による衛生パトロールを月一回行つい全社で共有している。			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年1回ストレスチェックを実施。また産業医による個別相談・メンタルヘルスケアを実施			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	<女性>女性社員活躍の為のユニエツクスNCT行動計画の策定 <障がい者>障がい者雇用制度(九州地区農園での労働場所支援)				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各種資格取得支援制度の策定 ・通関士試験の学習及び費用の補助 ・大型機器免許の学習及び費用の補助			4	5.5			8	9							
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	2019年の旧(株)ユニエツクス/NCT(株)の合併後から各種規約の統一を進めている				5.5			8.5		10.2 10.3						
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	産業医による定期的な個別面談を実施している			3					8							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	毎年度初めに「環境保全行動計画」を策定し、全社共有し各事業所でポスター掲示を行っている											11.6	12.4		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	対象部署にて毎月の電力、紙、ガソリン、排気量を把握し記録しており、年度毎にレビューを行っている								7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	コンテナターミナルで把握しており、2040年すべての荷役機器をゼロエミッションへとする計画に使用。							7.2					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	年度毎に関係法令の確認を行い適正に処理を心がけている			3.9			6.3					11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	事業活動による環境負荷を共有。特に税日事業活動で見る環境負荷(汚水、油水)などは特に注意している					6.6								15				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	【予定】2021年度までグリーン経営認証を受けており、2022年度からESGチームが同様のEMSを引き継ぎ中。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	現在は株主のみに開示を行っている。 その他、国・自治体・業界のアンケート等は都度対応している												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	大井、六甲ターミナルのゲート屋根に太陽光発電パネルを設置。							7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	【予定】コピー用紙やノベルティを環境に配慮している商品への転換を協議中。												12.2	13	14	15		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	物流品質宣言を策定し、品質・安全性の向上を行っている。(HPに掲載)			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	同上										9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	神戸一四国間での内航船を利用したモーダルシフトの提案及び姫路インランドデポのサービスを開始している。						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	各種社会貢献の実施として ・各施設周辺の清掃活動 ・ふ頭内施設での環境保全活動(害鳥の巣、雑草木排除)			4								11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13			
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	ESG経営方針である、『ユニエクスNCT ESGストーリー2022』を策定し全社にて共有し、弊社HPにて公開している。								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	年に1回、e-ラーニングを行い、左記法令遵守の教育に参加している。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	各事業所に環境担当を任命している。 ESG活動の推進に関してはESGチームを設置																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	年に1度、顧客・協力会社への満足度調査を実施(ランダム) *2021年度はコロナ禍で中止															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	内部監査室を設置している。法令遵守の為のマニュアルのチェックなどを行っている。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCP策定済み									9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和 5年 10月 1日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 東京都中央区新川1丁目28番24号
東京ダイヤビルディング 4号館

名 称： 株式会社ユニエイツクス NCT

代 表 者： 代表取締役社長執行役員 小原祥司

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	・安全管理体制の構築 ・2040年までにコンテナターミナル全ての荷役機器をゼロエミッション機器へ移行することを目指しています	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) 事故災害ゼロ、CO2排出ゼロ	2023年4月：確実なPDCAを実施することを目的とし、安全衛生委員会を全社的組織へと刷新。 2023年5月：2022年8月に導入した水素燃料電池へ換装可能な新型RTGの実証実験実施に関する協定を締結。
□環境 ✓社会 □経済	・各種資格取得支援制度の策定 ・女性社員活躍の為のユニエイツクスNCT行動計画の策定 ・各種社会貢献の実施	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) ジェンダー差別ゼロ、離職率ゼロ	2022年11月：全従業員対象の「会社に対するエンゲージメントサーベイ（満足度調査）」を実施。結果に基づくアクションプランを23年度中に策定予定。
□環境 □社会 ✓経済	利益の最大化とステークホルダーマンションの最大化の両立を図り、さらに企業価値を高め、利益の循環を行う	選ばれる企業であり続けることを目指す	2023年10月：コンプライアンス・ハラスメントに対する従業員の意識調査及び実態調査を実施。企業価値を守り、高めるためのアクションプランを23年度中に策定予定。

(様式第4号)

令和 6年 9月 30日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 東京都中央区新川1丁目28番24号
東京ダイヤビルディング 4号館

名 称： 株式会社ユニエイクス NCT

代 表 者： 代表取締役社長執行役員 齊藤 宗明

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	・安全管理体制の構築 ・2040年までにコンテナターミナル全ての荷役機器をゼロエミッション機器へ移行することを目指しています	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) 事故災害ゼロ、CO2排出ゼロ	2024年4月：確実なPDCAを実施することを目的とし、安全衛生委員会を全社的組織へと刷新を行い、本部大会を実施 2025年2月より順次、RTGへ水素燃料電池への換装を開始。 2040年までに全荷役機器のカーボンニュートラルを実施
□環境 ✓社会 □経済	・各種資格取得支援制度の策定 ・女性社員活躍の為のユニエイクスNCT行動計画の策定 ・各種社会貢献の実施	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) ジェンダー差別ゼロ、離職率ゼロ	2024年4月：2022年度に行つた全従業員対象の「会社に対するエンゲージメントサーベイ（満足度調査）」を基に行動計画を設定
□環境 □社会 ✓経済	利益の最大化とステークホルダー満足度の最大化の両立を図り、さらに企業価値を高め、利益の循環を行う	選ばれる企業であり続けることを目指す	2024年9月：現状に則したコンプライアンス・ハラスメント制度及び内部通報制度の見直しを実施。

(様式第4号)

令和7年10月30日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 東京都中央区新川一丁目 28 番 24 号

名 称： 株式会社ユニエツクス NCT

代 表 者： 代表取締役社長執行役員 齊藤宗明

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	・安全管理体制の構築 ・2040年までにコンテナターミナル全ての荷役機器をゼロエミッション機器へ移行することを目指しています。	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) 事故災害ゼロ、CO2排出ゼロ	・2025年5月「中央統括安全衛生委員会本部大会」開催 ・荷役機器 RTG の代替導入(38%) ・「環境eラーニング」を全社員を対象に実施
□環境 ✓社会 □経済	・各種資格取得支援制度の策定 ・女性社員活躍の為のユニエツクスNCT行動計画の策定 ・各種社会貢献の実施	(弊社は2050年目標としてHPにて発表しております。) ジェンダー差別ゼロ、離職率ゼロ	・2025年9月「エンゲージメントサーベイ2025」を実施し結果をもとにアクションプラン策定予定 ・「ESG経営eラーニング」を全社員を対象に実施
□環境 □社会 ✓経済	利益の最大化とステークホルダー満足度の最大化の両立を図り、さらに企業価値を高め、利益の循環を行う	選ばれる企業であり続けることを目指す	・2024年11月「行動規準誓約書提出」及び「コンプライアンス意識調査」を全社員を対象に実施 ・「競争法／独禁法・贈収賄禁止法・経済制裁・コンプライアンスeラーニング」を全社員を対象に実施